

第 120 回・日商簿記検定試験 3 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

当座預金	受取手形	売掛金	売買目的有価証券
他店商品券	未収金	立替金	前払金
仮払金	備品	支払手形	買掛金
商品券	未払金	預り金	前受金
仮受金	貸倒引当金	備品減価償却累計額	売上
雑益	固定資産売却益	償却債権取立益	仕入
手形売却損	貸倒損失	雑損	固定資産売却損

1. 日根野商店から商品 100,000 円を仕入れ、代金のうち 80,000 円は、かねて受け取っていた七里商店振り出しの約束手形を裏書譲渡し、残額は掛けとした。
2. 商品 100,000 円を売り渡し、代金のうち 60,000 円は、本店と連盟している下間商店の商品券で受け取り、残額は本店発行の商品券で受け取った。
3. 期首に備品（取得原価 400,000 円、減価償却累計額 250,000 円、間接法で記帳）を 120,000 円で売却し、代金は後日受け取ることにした。
4. 本願寺商店に対して商品 50,000 円を注文し、手付金として 20,000 円の小切手を振り出して渡した。
5. 得意先が倒産し、前期から繰り越された売掛金 100,000 円が回収できなくなったので、貸倒れの処理を行う。なお、貸倒引当金の残高は 80,000 円である。